

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-010

PDCA	事務事業名	母子健康増進事業	部課等名	健康子ども部保健センター 母子保健担当	担当	今井	
					内線等	84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節：第1節 子育て・子育て支援の推進 基本施策：3. 健やかな子と親の育ち 単位施策：(1) 安心で安全な妊娠・出産への支援 個別施策：②妊産婦家族への支援					
	根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					
	対象・目的	・妊婦や子育て中の家族が安心して育児ができる。 ・妊婦や子育て中の家族が育児に悩んだときに、相談・支援を求めることができる。 ・不妊治療をしている夫婦の経済的負担を軽減する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・妊娠期から必要な母子に専門職が電話や家庭訪問支援をする。 ・産後まもない母の身体的・心理的負担を軽減させるため、産後ケア事業を実施する。 ・生後2か月目の乳児のいる家庭に民生児童委員が全戸訪問する。 ・パパママ教室、健診事後教室（たんぽぽの日）等の講習会を開催する。 ・不妊治療をしている夫婦に対して治療費を一部助成する。 ・乳幼児を含む一般市民に歯科健診、相談指導、フッ素塗布を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握済み	100	100	100	%	
		②たんぽぽの日参加人数	227	198	110	人	
		③不妊治療費助成申請受理件数	71	76	68	組	
		事業費	3,460	3,718	3,471	千円	
		人件費	6,219	6,447	6,803	千円	
		総事業費	9,679	10,165	10,274	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①こんにちは赤ちゃん訪問一人当たりコスト	2,932	3,241	3,821	円		
	②たんぽぽの日一人当たりコスト	14,916	18,427	26,779	円		
	③不妊治療費助成一組当たりコスト	40,945	40,495	51,020	円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①こんにちは赤ちゃん訪問把握済み率	実績値	100.0	100.0	100.0	%
			目標値	100.0	100.0	100.0	
②たんぽぽの日 親の意識変化率		実績値	83.0	89.2	88.8	%	
		目標値	80.0	80.0	80.0		
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		妊娠期からの切れ目ない支援の充実のため、母子手帳交付時にすべての妊婦と保健師が面接できる体制を整えた。コロナ禍のため、内容の変更や人数を制限するなど、感染拡大予防対策を講じ、各講座を実施した。「こんにちは赤ちゃん訪問」は、緊急事態宣言中は保健センターで対応したが、民生・児童委員と連携し、把握済み率100%を継続達成できた。「たんぽぽの日」では、コロナにより実施回数を減らし人数制限したため、参加者数が減少したが、母が主体的に教室に参加できるように適宜内容を変更をしたことにより、保護者の意識変化率の目標を達成することができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 コロナ禍により各講座の内容の変更しているが、必要に応じて個別で対応するなど切れ目ない支援を実施する。 「こんにちは赤ちゃん訪問」について、今後も把握率100%が継続できるように実施していく。「たんぽぽの日」では、今年度1クール増やすことにより教室1回の人数を少なくし、参加母子の傾向を適切に把握し、母が児とのかかわりにおいて発達に合わせた関わりを知ることができるよう丁寧な支援を実施する。不妊治療費助成については、所得制限をなくし、必要な方に対し助成を実施する。				
		令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位
			乳児実態把握率			100	%
			たんぽぽの日 親意識の改善率			80	%